

瀋陽市の都市緑化について

平成 20 年 8 月 王 笑倩

要旨

- 目的 瀋陽市における緑化政策について基本的なデータを収集し, 他の都市の緑化状況と比べて, 瀋陽市の緑化状況を検討する.
- 方法 インターネットを利用して, 瀋陽市及び他の都市の基本資料を収集比較し, 瀋陽市の緑化状況と緑化対策を調べる.
- 特徴 瀋陽市の緑化について, ホルチン砂漠の拡大を防止するための対策, 街路樹の植栽による効果, 屋上緑化について検討し, 二酸化炭素の排出低減から見てどのくらいの効果があるかを調べた.
- 結論 ホルチン砂漠の拡大を防ぐには, 樹の活着率を上げることが重要であり, 拠点となる施設を設けて活動することも 1 つの方策となる. また, 算定の結果, 街路樹の植栽によって瀋陽市の二酸化炭素の排出を年間 10, 277t, 屋上緑化で 485, 000t 吸収できる可能性があることが分かった. しかしながら, 瀋陽市の二酸化炭素の年間排出量はおおよそ 39, 200, 000t であり, 街路樹と屋上緑化の都市緑化だけでは年間排出量の 1. 3%程度の低減効果しか得られない. 二酸化炭素の排出量を減少させるには緑化政策だけでなく, 工場に対して排出規制を加える等の規制, 市民への啓蒙活動がさらに必要である.

指導教員 大上俊之 准教授
小山 茂 助 教